

北理研研究部 生物研究委員会 令和7年度 授業研究会 報告

北海道札幌厚別高等学校 渋川 亮

1. 日時 令和7年12月5日

2. 会場 北海道苫小牧総合経済高等学校

3. 授業者 北海道苫小牧総合経済高等学校 吉沼 利晃 教諭

4. 時程

13:15～	受付開始予定	控室 13:25 頃授業会場へ移動
13:30～14:20	5校時・【第1部】授業参観	第一講義室 2年A組36名
14:30～15:20	6校時・【第2部】研究協議会	
15:20～	解散	

5. 参加者 13名

6. 記録

第1部 授業参観

授業内容は1年生の生物基礎で「神経系と内分泌系による調節」の単元で「肝臓の構造と役割」の授業を参観させていただいた。肝臓については、現教科書では内容が削除され、参考扱いとなっているが、内分泌系の理解、次の授業への流れを考慮し、正しい知識を伝えるという意図があるようだ。

まず授業の初めに驚かされた。吉沼教諭自身が行っている北大博物館のボランティア活動の一環でワニの解剖があり、そのワニ皮を生徒に披露し説明を行った。本物を見せられることで生徒の興味が引きつけられた。

授業はワークシートを配布し、穴埋め形式で正しい知識を伝えながら進んでいった。生徒が個人で考えて穴埋めをする場面、生徒に問い発言させる場面などがあり、飽きさせないような工夫と、自主的に学ぼうとする意識付けもされているように感じられた。最後に本時の確認の問題を解いた。

第2部 研究協議会

公開授業の後には、吉沼教諭から本授業の解説と質疑応答、参加者がグループとなり公開授業に関する意見交換を行った。

普段の授業スタイルとしては本時のような穴埋め形式、そして小テストをこまめに行い、合格まで粘り強く続けている。グループ活動などをすることは多くはないよう

であるが、生徒にしっかりと正しい知識を教え、生物基礎を理解してもらいたいという思いから現在のスタイルとなった。

3グループに分かれて意見交換を行ったが、各学校の学力層や特色によって悩みも多様であり、大変参考になるものが多かった。現教科書から内容が削除され、発展的内容として記載のあるものの取り扱いや、どんな実験を行っているのか、能動的に活動させる工夫など、交流することで新たな発見があった。

他校の先生の授業を見学させていただき参考になる部分が多々あり、同じ生物の教員が集って意見交換するということが自身のブラッシュアップにつながるということを再認識することができた。同じ科目、単元でも各教員のアプローチはたくさんあるので、私も取り入れながら今後の授業に活かしていきたい。

今年度の授業研究会もたくさんの会員のみなさまにご参加いただき、また研鑽を積むことができました。今後もぜひ本会の活動に積極的にご参加ください。

今回快く授業公開を引き受けていただいた苫小牧総合経済高校の吉沼教諭に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

